



★戦 獅子島招魂祭・獅子島つつじ祭り 没者を追悼し平和を祈る

5月20日、明治維新以降の戦争で亡くなられた獅子島出身のかたがたを慰霊する、獅子島招魂祭が開催されました。

この日、会場となった七郎山山頂の慰霊碑前には、遺族や団体関係者、獅子島の消防団員ら約50人が参列し、しめやかに神事が執り行われました。参列した石塚政廣副町長は「尊い犠牲を礎にし、戦争の悲惨さと平和の尊さを継承していく」と慰霊の言葉を述べました。その後山頂広場では、招魂祭の恒例行事となるちびっこ相撲が奉納され、たくさんの声援が送られました。

同日、同会場では獅子島つつじ祭りも開催。平成22年度、山頂付近に約2,000本のつつじが植栽され、満開に花が咲いたことを記念した行事となりました。当日は、あいにくの小雨交じりとなりましたが、島内の児童生徒による踊りや長島中学校吹奏楽部の演奏、歌謡ショーなどがあり大賑わいとなりました。また、初めての試みで会場には金魚すくいなど地域のかたがたによる手づくりの出店もあり、子どもから大人まで楽しめる祭りとなっていました。



↑山頂広場の特設相撲場で奉納されたちびっこ相撲

←つつじ祭りで、獅子島中学校の生徒は「ソーラン節」を披露

ま
ち
の
話
題

★災 衛星通信車を使った共同防災訓練 災害を想定し連絡体制を確認

5月17日、国土交通省が所有する衛星通信車を使った共同防災訓練が、長島町役場を対策本部として、指江庁舎との両庁舎間で行われました。

これは、衛星回線を使用した画像通信および撮影指示訓練で、実際に災害が発生したことを想定。仮の災害現場となった指江庁舎では、現場の状況を衛星小型画像伝送装置（ku-SAT）のビデオカメラで撮影し、対策本部へ伝送しました。本部では石塚政廣副町長が待機し、画像と音声を確認しながら衛星電話で、ズーム、方角など撮影の指示をしました。

訓練のため役場駐車場の災害対策本部に設置された衛星通信車↓

